

9月定例議会が終了しましたのでご報告させていただきます。

居住誘導区域の設定について

今回は代表質問ということで都市のコンパクト化における知っているようで知らない居住誘導区域の設定について質問をしてみました。

（一）笠岡市は駅周辺、番町地区、美の浜を居住誘導区域として指定しているが、エリア選定の定義とは何ですか？

市 笠岡市において医療、福祉、商業等の都市機能を中心に利便性の向上を図り、一定の人口密度を維持するために居住を誘導するエリアとしてこの区域を設定しています。集約移転を視野にまちづくり整備をしていきたい。

（二）今後、バイパスの開通やスマートインターチェンジの開設から大島や茂平地区は人やものの流れが変わってきます。利便性の向上や住民の生活向上は駅周辺にこだわる必要は無いと思いますが、新たな居住誘導区域は検討できないのですか？

市 同地区は人口集中地域から外れているので居住誘導区域にはできないが、今後は交通拠点エリア・土地利用検討エリアとしてまちづくりを推進する上で最も適した土地利用が出来るように検討を進めていく。

（三）今後人口動態や社会情勢が変わってきたら、マスター プランの見直し立地適正化計画など計画期中でも土地利用の見直しや変更はするのですか？

市 現行の制度と計画に差が出る場合や見直しを必要とする場合は積極的に計画を変えていくべきだと考えます。また、既に関係機関と協議を進めており今後商業、工業も含めて土地利用を見直し最適なものに見直しをしていく。

（四）ちなみに土地利用の見直しへ実際にどれくらいの時間が掛かるものなの？

市 見直しの内容にもよりますが、条例でしたら1年以内、土地の用途や地域の関係、県の協議などがかかるてくる場合は2年近く掛かるものもあります。

今後、バイパスやスマートインターチェンジ開設だけでなく学校統廃合などからエリア状況は大きく状況が変わってきます。中心市街地だけでなくしっかりとした全体計画を期待したい。



皆様の声、地域の声を教えてください。
皆様の声を活動の指針として参ります。

9月議会で決定したこと

提案された内容は一般会計補正予算とコロナ対策における補正予算、令和3年度の様々な決算報告が審査対象となっています。

【一般会計補正予算】（抜粋）

笠岡小学校通学バス運行委託：6,190万円（5年分）

大島小学校通学バス運行委託：3,157万円（5年分）

小中学校への外国語市道補助派遣：4,851万円（配置9名）

固城郡訪問事業：136万円（固城郡との交流事業費）

地区集会所施設等整備補助金：22万円

緊急応急措置：182万円（危険性の高い空家除却費用）

喀痰吸引等研修支援：17万円（喀痰研修費用補助）

（一）削除した案件は、マイナンバー普及促進事業、自転車購入補助金、金婚式事業となります。特にマイナンバー普及促進事業は国の方針に左右された事案でしたが制度設計が甘く曖昧な答弁が多くありました。また金婚式や自転車購入補助についても制度設計段階での整合性がとれていなかったため削除としています。

【新型コロナウイルス対策補正予算】（抜粋）

新型コロナウイルス対策予算の事業化は以下の通りです。

テレワーク推進事業：697万円（PCの更新90台）

非課税世帯・家計急変世帯5万円支給：3億4,155万円

頑張るかさおかっ子応援事業：3,066万円（18歳以下の子どもに5,000円の市内共通券配布）

保育環境改善事業：670万円（就学前施設へ物品整備）

出産育児応援特別給付：4,418万円※

物価高騰に対しての支援：2,921万円（農業経営者 肥料・燃料）



：1,800万円（畜産農家 飼料）

：1,170万円（漁業経営者 燃料他）

新型コロナワクチン接種事業：15,696万円

※コロナワクチン接種4回目、オミクロン株対応ワクチンの接種費用

※出産育児対応特別給付金は令和3年4月2日以降に出生した子どもの保護者に子ども1名あたり11万円を支給、これまで給付金を給付されていない方に対して給付するものです。*笠岡市に住民票がある方が対象です*

子育て支援課 0865-69-2132

kasaoka.mirai@gmail.com

百条委員会が終了しました。

農業振興施設改修事業の補正予算に係る提案説明についての事実確認に関する調査特別委員会

令和3年9月に立ち上がった特別委員会は全17回の会議・調査を終了し報告書が提出されました。

【経緯】干拓地内施設のプロポーザル入札後、募集要項記載に不備があったことが判明、その改善に対して事業計画を度々上程するも事実とは違う説明を行っていたことが判明し調査事案となつた。

【調査結果】報告書より

- ①予算に関する説明がコロナ交付金を利用する為に不利となる情報を提供せず事実を覆い隠すものであった。
- ②契約遵守に対して認識が甘く事業者に対して多大な迷惑をかける結果となつた。
- ③公文書等の取扱や公開条例に関する開示不開示の意思形成に府内でも差異があることが判明した。
- ④施設改修負担金が両者が共通認識ではなかった。
- ⑤市長からの圧力ともとれる発言により本来業務が後回しになり記載誤りに対して隠ぺいとも取れる事態となつた。
- ⑥監査報告書が正しいことの実証につながつた。

再発防止について

笠岡市議会として市長に対し、報告書と再発防止に向けた以下9項目を提出させていただきました。

- ①職員の法令順守意識の向上を行うこと。
- ②笠岡市文書取扱規程に基づく文書主義の原則を徹底すること。
- ③笠岡市事務決済規則に基づく業務に関する責任を明確にすること。
- ④予算概要及び新規事務事業シートの記載内容の見直しを行うこと。
- ⑤笠岡市情報公開条例に関する認識を統一化すること。
- ⑥いかなるハラスメントの撲滅を徹底すること。
- ⑦規律ある風通しの良い職場を醸成すること。
- ⑧監査の役割と重要性を正しく理解すること。
- ⑨二元代表制と行政の仕組み及び議会の役割を正しく理解すること。

今後は再発防止策をチェックする特別委員会が設置されます。市議会の役割は市長から提案される施策がキチンと計画されているのか、またお金はキチンと計上されているのかを確認する機関でもあります。



令和3年度決算認定について

9月定例議会では令和3年度の決算が提出され審査を行いました。昨年度は10回の補正予算を編成して23億円を越える予算規模で感染対策事業を行っています。

結果、歳入272億8,420万円(前年対比-7.8%)・歳出263億9,872万円(前年対比-9.0%)であり、実質収支は8億1,317万円の黒字、償還金や財政調整基金等を加味した実質単年度収支は6億3,606万円の黒字となっています。

しかし、笠岡市財政の中期見通しでは令和5年以降、企業誘致奨励金や焼却場負担金などで毎年2億円を超える財源不足であり、かつスマートインターチェンジや国道バイパス、駅周辺整備、一貫校設立などの大規模事業により収支はかなり厳しくなると報告がされています。



今回の決算認定にあたり市長交際費の支出で世界平和統一家庭連合(旧統一教会)の関連団体が主催したイベントに激励金として5千円を支出したことを問題視し、発覚後の対応などを指摘、一般会計や特別会計の決算を不認定として処理しました。この結果により市政への影響はありませんが、執行部に対しては再発防止や適正な処理について再度検討していただきたいと思います。

水道料金改定・ゴミ袋有料化について

今回、総務文教委員会・厚生産業委員会へ提出された議案については継続審査として処理をしています。

水道料金については、使用量によって変動する体系を説明されましたが、管の維持補修に係る経費や有事の際にライフラインを確保するための財源などを鑑みまだ検討の余地があるとして継続審査としています。またゴミ袋有料化については一定の理解は出来るが段階的に考え方論すべきであるとして同じく継続審査としています。

減らないイノシシ 狩猟者登録申請開始

11月15日からの狩猟期に合わせ、岡山県では狩猟者登録申請の受付を、10月3日から狩猟期間が終わる2月15日まで随時行っています。ここ数年市内各地で被害が出ているイノシシですが、8月末現在で捕獲数821頭(獵友会425・地域396)で前年と同水準の捕獲数となっています。



また、毎年地域単位で狩猟者資格を取得する方も多くなっています。

発行年月：令和4年10月

発行責任者：坂本りょうへい

岡山県笠岡市大宜605番地

電話：0865-66-1818

